

FUKUSHIMA NEXT

人から始まる、新しい福島。

福島の未来を担う「FUKUSHIMA NEXT」

福島では今、環境再生や復興の実現、そして未来への継承に向けて、多くの人々や団体が活動されています。福島のためにひたむきに取り組む方々を、もっと多くの人に知っていただきたい、そして応援していただきたい。そんな思いから環境省と福島県は、未来志向の優れた取り組みに対して、福島環境リブランディングキャンペーン「FUKUSHIMA NEXT」表彰制度を設けました。今回は「FUKUSHIMA NEXT」第一回福島県知事賞受賞、合同会社「ねっか」の取り組みをご紹介します。

環境も教育も。地元に深く根差した酒造り

「ねっか」とは南会津の言葉で「まったく」「全然」という意味。「ねっかさすけねえー」と言えば「まったく大丈夫!」ということ。前向きな気持ちを社名に込めて、合同会社ねっかは2016年に創業しました。そんなねっかが造るのは、味わい深い米焼酎。ユネスコ ユネパークに認定された只見町の自然の中、尾瀬のブナ原生林を水源とする水を生かし、製造を地元での酒米作りから始めます。「受け継いだ美しい田園風景を守ること。そのためには田や自然を守らなければなりません。それが酒米作り、そして酒造りにつながりました」と、ねっか代表社員 脇坂 斉弘^{わきざか せいひろ}さん。ねっかのもう一つの柱が、地元の子どもたちに対する環境教育。小中学生ならば、田植えや稲刈りなどの体験を通して自然環境の尊さを学び、環境意識を育みます。

高校3年生の、蒸留など酒造りへの参加は地元のあり方を考える機会となります。また彼らが製造に関わった米焼酎を、20歳になったらプレゼントしています。豊かな地域資源を守り、活用し、地域の「ねっかさすけねえー」未来を目指す合同会社ねっかの取り組み。福島では未来を見つめて、人々がもう動いています。

震災から11年余りが経過しました。環境省は引き続き環境再生事業を安全かつ着実に進めながら、福島の未来を担う人々「FUKUSHIMA NEXT」の活動を応援していきます。

福島、その先の環境へ。



環境省

FUKUSHIMA
NEXT
WEB SITE

